

2022年7月4日

報道関係各社 御中

## 若者の「選挙への関心」は？

### 参院選を前に、参政権の理解を深める授業を実施

7月6日(水)11:00～、桃山学院大学法学部で主権者教育

#### 【本件ポイント】

- ◎第26回参議院議員通常選挙（7月10日投開票）に向けて、各党の選挙戦が熱を帯びています。
- ◎特に、成年年齢引き下げ以降、初となる全国規模での選挙では、若者の「選挙に対する関心」に注目が集まっています。
- ◎桃山学院大学法学部では、リーガルマインドを養成するため「社会とリンクした実践的な授業」を実施、主権者教育も行っています。
- ◎7月6日(水)11:00からの授業では、本学法学部の1年次生がアカデミックスキルを学ぶ授業において、「日本の選挙制度をテーマにしたディベート」を行い、投票率の低迷など「若者と選挙」について当事者目線で議論を深めます。
- ◎本学法学部では、若者の参政権理解を深める3分間アニメーション「18歳参政権」を公開しています。
- ◎授業の撮影、取材、学生や担当教員を含む本学関係者へのインタビューが可能です。



授業の様子（イメージ）

#### 【詳細】

7月10日(日)投開票の日程で行われる夏の参議院選挙に向けて、各党による熱戦が全国各地で繰り広げられています。今回の参議院選挙は、憲法改正、経済・成長戦略、および外交・安全保障等、多様なテーマが争点として注目されているだけでなく、成年年齢引き下げ以降初となる全国規模での選挙になります。そのため、各党では選挙権を持たない子どもを含めた若年層に対して政治への興味や関心を広げるため、子ども向けのマニフェスト作成や、短尺動画の作成など工夫を凝らしています。

このたび、桃山学院大学（大阪府和泉市、学長：中野瑞彦 2022年5月1日時点：学生数6,727人）では、7月6日(水)11:00より、法学部1年次生向け科目（基礎演習）において「日本の選挙制度」をテーマにしたディベートを行います。この科目は、アカデミックスキルを身につける目的で新入生向けに開講しており、受講者は成年年齢引き下げによって今年度から新たに成年となった18歳（新入生）が中心です。

当日は、参院選の投開票日を間近に控えたタイミングで、日本の選挙制度に関するディベート（テーマ：「日本は強制投票制を導入すべきか」）を行うことで、若者の投票率が低迷している理由を当事者である学生が考える機会を提供します。

また、授業では法学部が作成、公開している「18歳参政権」に関するアニメーション動画（約3分）を視聴し、若者も選挙に参加する意味について考えます。

### 【授業の詳細】

日時：2022年7月6日(水) 11:00-12:30

科目名：基礎演習

対象者：2022年度入学生（法学部法律学科）

ディベートのテーマ：「日本は強制投票制を導入すべきか」

担当者：松本 未希子 講師（専門：行政法）

場所：桃山学院大学和泉キャンパス（大阪府和泉市まなび野1番1号）

### 【授業中に視聴するアニメーションについて】

タイトル：18歳参政権 18歳で選挙へ行く意味

監修：田中 祥貴 教授（専門：憲法学）

※田中教授は、書籍『参議院と憲法保障』（出版：法律文化社）で、2022年度日本公共政策学会 学会賞の「著作賞」を受賞しています。

長さ：約3分

動画 URL：<https://youtu.be/Znhm3c81op8>



※サムネイルにある、QRコードからもご視聴いただけます。

以上

【本件に関する問合せ】 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 学校法人桃山学院 経営企画課 広報室  
TEL 0725-92-7026 FAX 0725-54-3203 /E-mail [koho09@andrew.ac.jp](mailto:koho09@andrew.ac.jp)

※本リリースは、学校法人桃山学院経営企画課広報室が作成しています。内容等に関するご意見やご助言等、お待ちしております。